

●●市立●●中学校

大人になる前に

知っておきたい資産形成の話

○年○月○日

J-FLEC

金融経済教育推進機構

本資料は、金融経済教育推進機構(J-FLEC)が作成したものです。本資料は、中立・公正な立場から金融リテラシー・マップに沿った金融経済教育を実施することを目的としており、特定の金融商品の勧誘を意図していません。J-FLECは、インターネットを通じて提供されている情報を含め、信頼性が高いとみなされる情報等に基づいて本資料を作成しております。しかしながら、当該情報が正確である事を保証するものではありません。また、当該意見・見通しは、将来予告なしに変更される事があります。ご使用にあたっては、「[講師派遣で使用する教材の公開について](#)（「一般の方のご利用について」）」をご確認ください。(上記リンクをクリックあるいは右記二次元コードを読み取りいただくと、J-FLEC HP(発表・広報)に遷移します)。





- J-FLEC(ジェイフレック)は、お金の勉強をみなさんに届けるため、『**国と民間の団体が協力してできた公的な団体**』です。

お金の知識を
あなたの力に
J-FLEC

J-FLEC

金融経済教育推進機構



目次

1
【はじめに】
金融リテラシー
ってなに？

2
【使う】
生活設計
(ライフプランニング)

3
【使う】
家計管理
と決済

4
【貯める・増やす】
資産形成
の基本

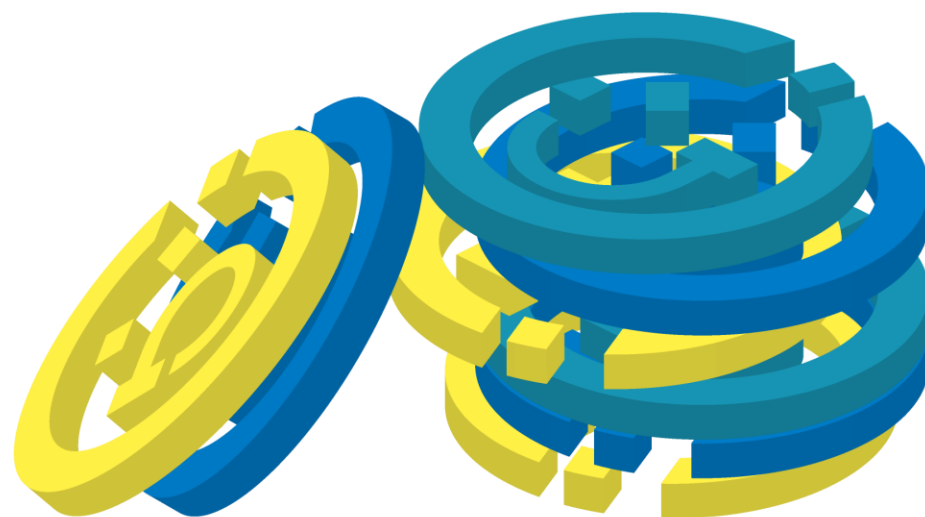
5
【備える】
保険
の仕組み

6
【借りる】
ローン・
クレジット

7
【注意】
金融トラブル

①【はじめに】

金融リテラシーってなに？



○ 当てはまるものはありますか？



一人暮らし
がしたい



海外留学
がしたい



大きな家
に住みたい



起業して
社長になりたい



やりたい仕事
がある



- 金融リテラシーとは、経済的に自立し、より良い生活を送るために必要な『**お金に関する知識や判断力**』のことです。
- 金融リテラシーを身につけることは安心した生活に繋がります。

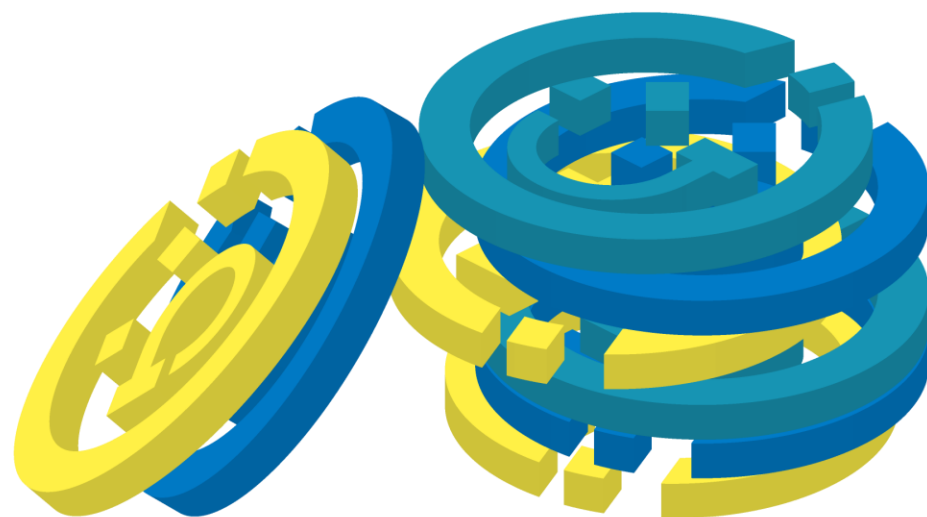
金融リテラシーが高いと…

- 将来のために計画的にお金を準備することができる。
- 詐欺などの金融トラブルにあうことが少ない。
- **お金の管理がしっかりしているので、経済的に自立し、より良い暮らしを送ることができる。**



②【使う】

生活設計
(ライフプランニング)



○「将来どんな人生を送りたいか」についての構想を描くことを『生活設計(ライフプランニング)』といいます。



一人で世界中を
旅行してみたい



好きなことを
たくさん楽しみたい



こんな家で
暮らしていきたい

○ 皆さんがやってみたいライフプランの多くは、お金がかかります。『**実現のためには収入を得ることが必要**』です。



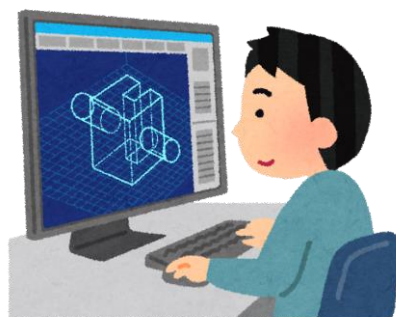
例えば、海外旅行でハワイに行くと1人あたり20～40万円くらい、家を買うと3,000～5,000万円くらいかかります。

- 収入を得るためには、『働いて賃金をもらうこと』が一般的です。
- 大人は、『人の役に立つこと』や『人が喜ぶこと』をしてお金をもらっています。

例えば・・・



医者は病気の人を治して、お金をもらっています



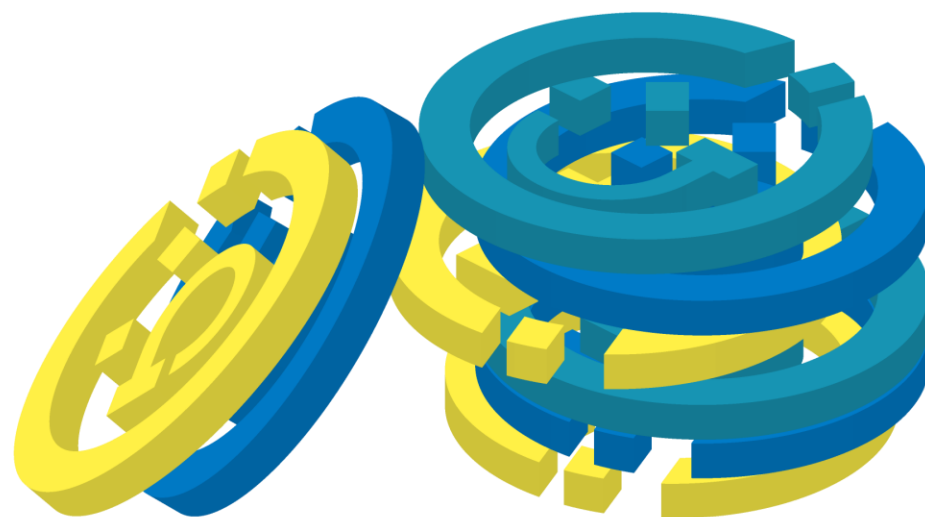
プログラマーは様々なシステムやアプリケーションを開発して、お金をもらっています



学校の教師は皆さんに勉強を教えて、お金をもらっています

③【使う】

家計管理と決済



- 普段生活をするうえで、収入と支出のバランスを管理することを『**家計管理**』といいます。
- 『**支出は収入の範囲内に収める**』ことが重要です。

中学生の場合

収入

おこづかい
お年玉



支出

文房具 お菓子 洋服
友人との遊び ゲーム等



○ お金の使い方を考える時は『優先順位』をつけましょう。

1. **ニーズとウォンツ**を区別する。

ー 必要なもの・こと (**Needs: ニーズ**)

ー 欲しいもの・やりたいこと (**Wants: ウォンツ**)

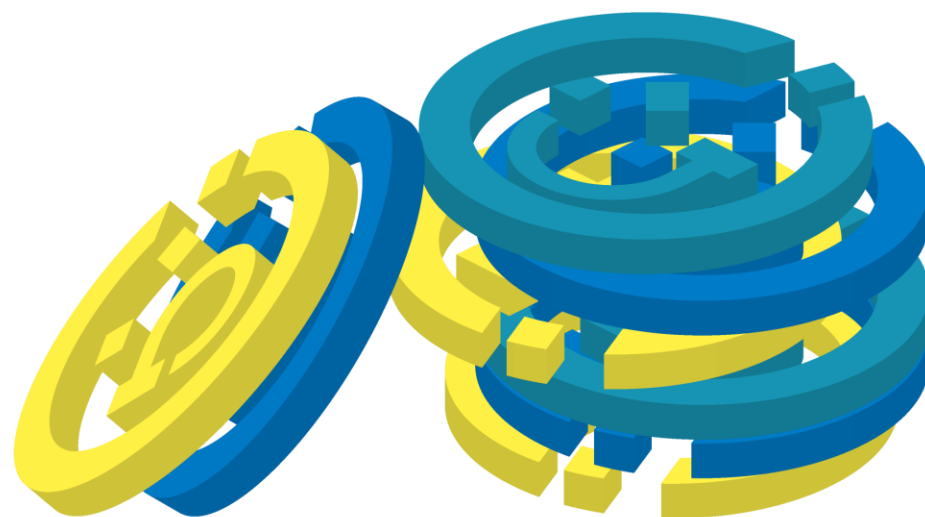


2. お金を使うときには「**ニーズ(必要なもの)**」を優先しましょう。

3. ウォンツの中でも優先順位をつけてお金を使いましょう。

4 【貯める・増やす】

資産形成の基本

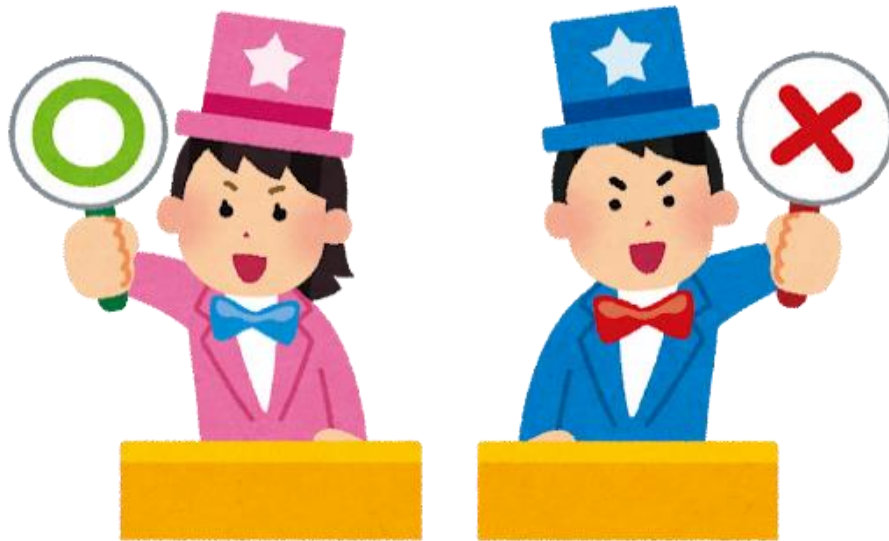


クイズ

?

お金が貯まりやすいのはどっちでしょう？

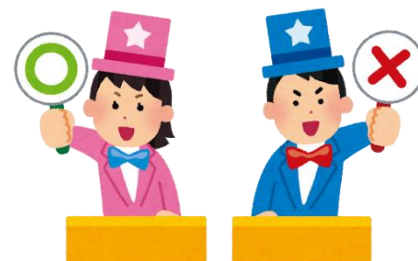
- ①毎月、お小遣いが残ったら貯金をする
- ②お小遣いをもらったたら、使う前に貯金をする



答え

②お小遣いをもらったら、使う前に貯金をする

毎月残ったお金を貯めていく方法だと、
人間の心理的に目の前にお金を使ってしまうやすく、
思ったようにお金を貯めるのは難しいと言われています。
「毎月500円を貯金する」「お年玉の半分は貯金する」など、
ルールを決めるとお金が貯まりやすくなります！



- 例えば、お小遣いやお年玉をもらったら、自分でルールを決め、『**最初にその一部を貯める**』ようにしてみましょう。自分にとって無理のない金額で始めてみると、続きやすくなります。
- 大人になったら、『**投資**』などの方法も検討してみましょう。
- 工夫してお金を貯める・増やすことを『**資産形成**』といいます。

例えば…



○ 預貯金や投資では、『**単利**』と『**複利**』という考え方があります。

－ 単利：元本のみに利息がつく計算方法

－ 複利：**元本と利息を合わせた額に利息がつく計算方法**

100万円を利率5%で運用する場合(税金等は考えない)

単利の場合

1年後： $100\text{万円} + 100\text{万円} \times 5\% = 105\text{万円}$

2年後： $105\text{万円} + (100\text{万円} \times 5\%) = 110\text{万円}$

複利の場合

1年後： $100\text{万円} + 100\text{万円} \times 5\% = 105\text{万円}$

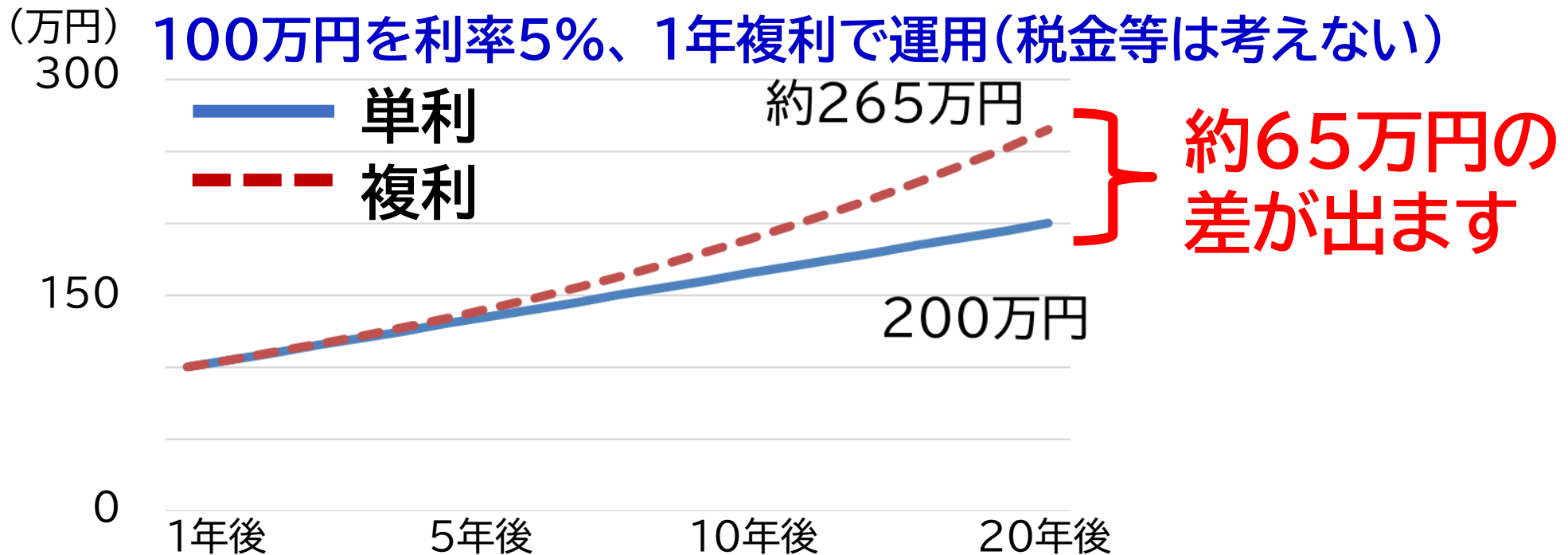
2年後： $105\text{万円} + (105\text{万円} \times 5\%) = 110\text{万}2500\text{円}$

複利の場合は元本の100万円だけではなく、利息の5万円にも利息がつくため、より多く資産が増えることになります。

○ 『単利と複利では長期間で考えると大きな差』が出ます。

－ 単利: 元本のみ利息がつく計算方法

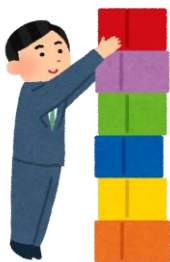
－ 複利: 元本と利息を合わせた額に利息がつく計算方法



複利の効果を得るためにも、資産形成は長い時間コツコツ続けていくことが重要です。

- 金融商品による資産形成の方法としては、「預貯金」と「投資」があり、『**目的に応じた金融商品を選択**』することが重要です。

預貯金



- ◆ 貯めることを重視
- ◆ 元本保証等確実性を重視
- ◆ 運用成果(結果)は商品選択時に決まっている

投資



- ◆ 増やすことを重視
- ◆ 元本保証はない
- ◆ 運用成果(結果)は商品選択時に決まっていない

主な金融商品

普通預貯金

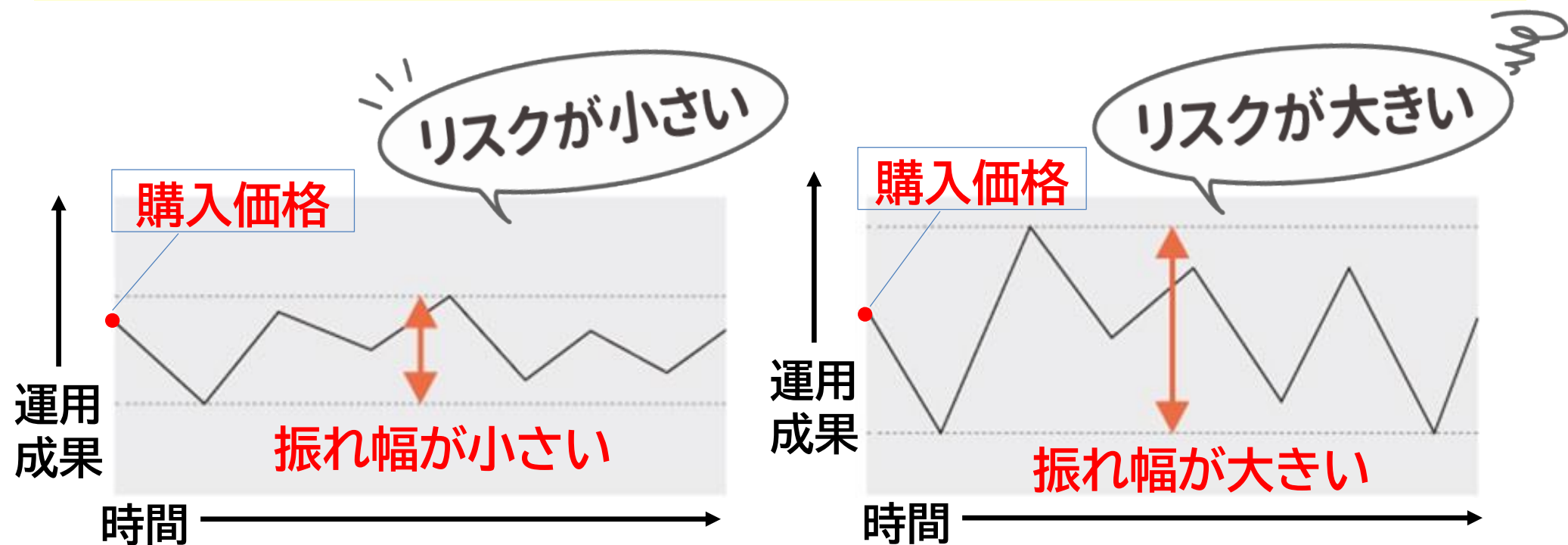
定期預貯金

積立定期預貯金

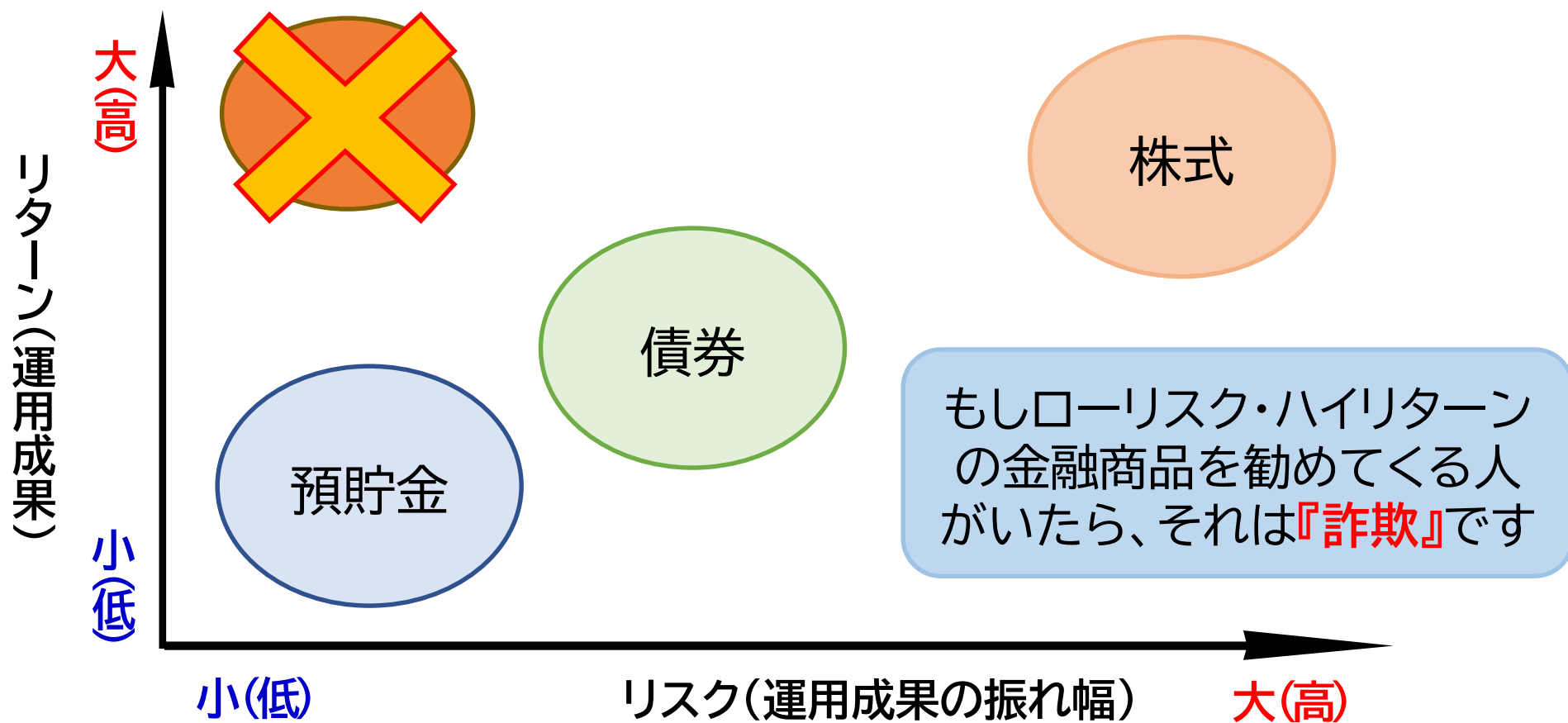
株式

債券(国債・社債など)

- 資産運用におけるリスクとは『**運用成果の振れ幅**』のことを指します。「リスクが大きい」とは、「とても危険」という意味ではなく、「大きく儲かるかもしれないし、大きく損をするかもしれない」(運用成果の振れ幅・不確実性が大きい)という意味です。
- 『**保険で備えるリスク(危険)**』とは意味が異なります。



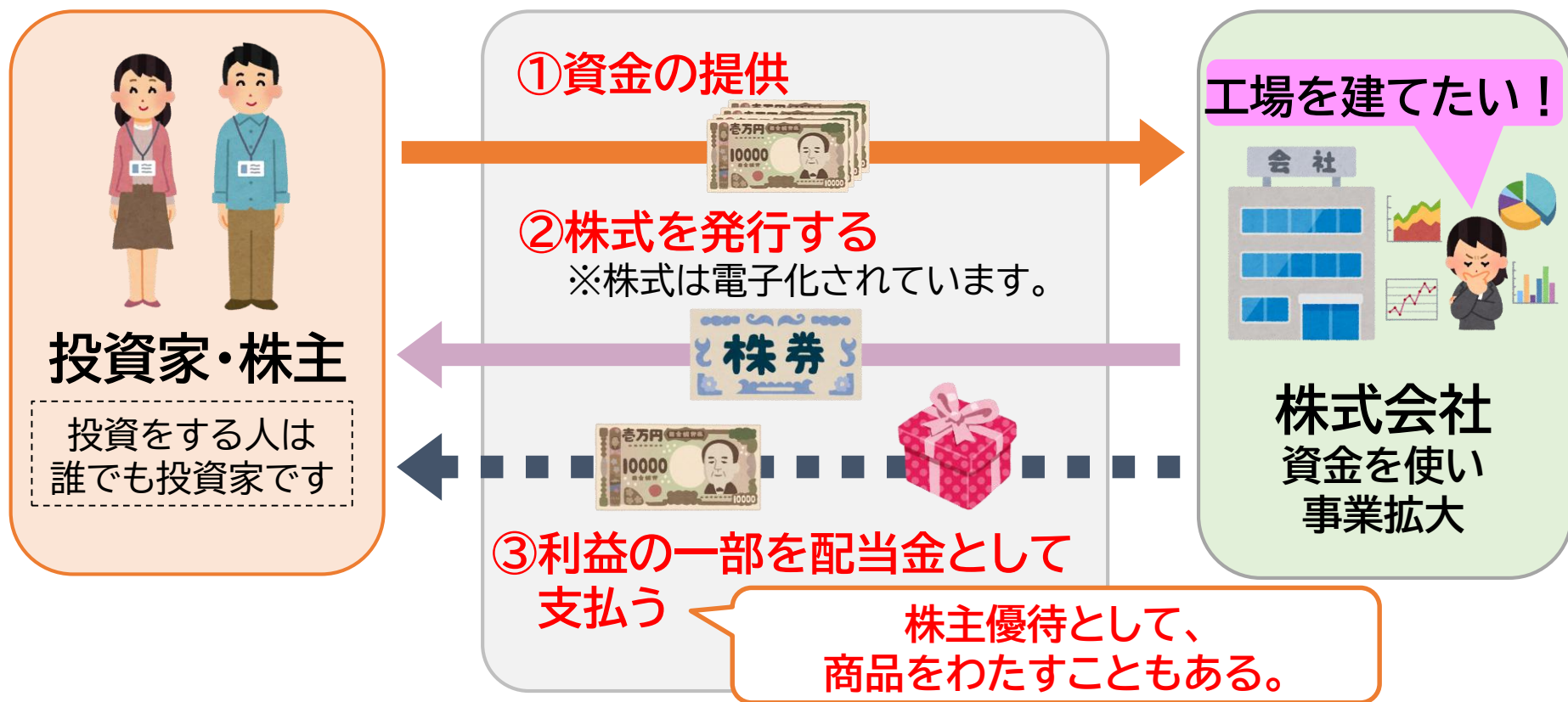
○ 原則、リスク(運用成果の振れ幅)とリターン(運用成果)は比例関係なので、『**ローリスク・ハイリターンの金融商品はありません**』。



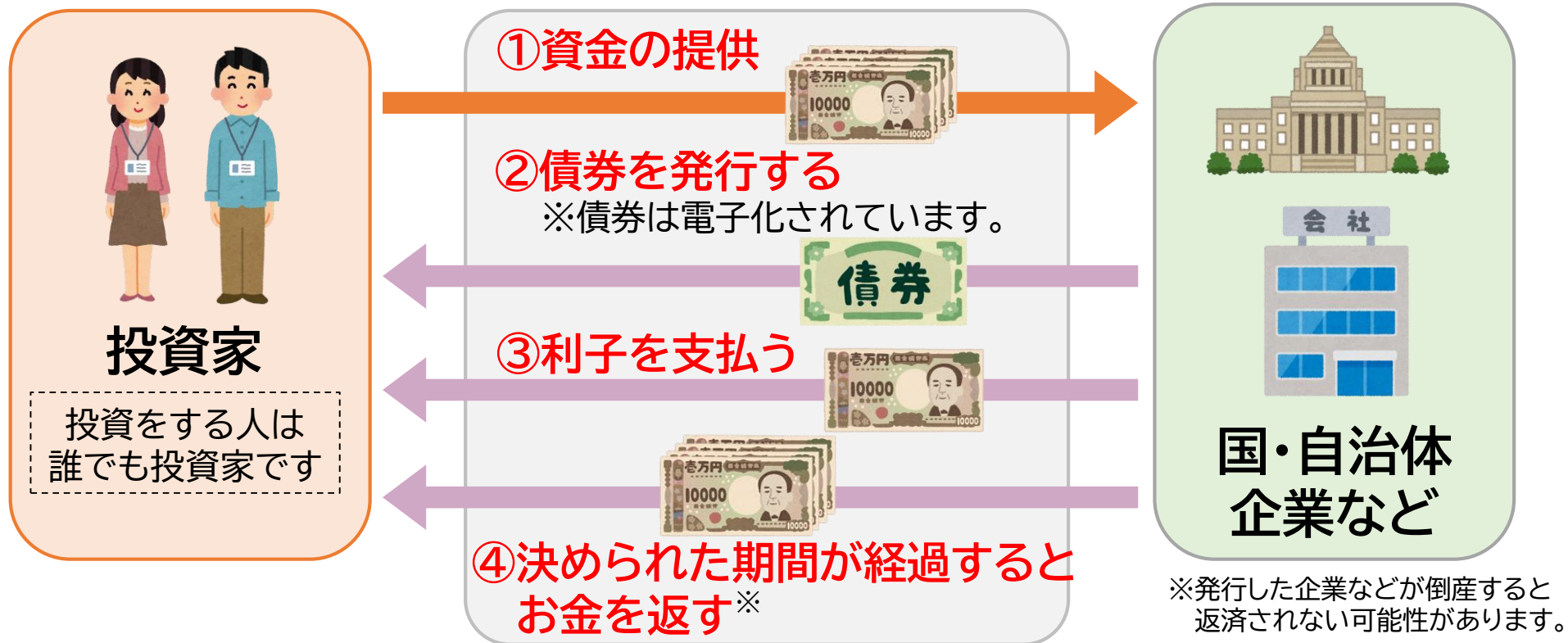
もしローリスク・ハイリターンの金融商品を勧めてくる人がいたら、それは『詐欺』です

※一般的なイメージ図であり、すべての金融商品があてはまるものではありません。

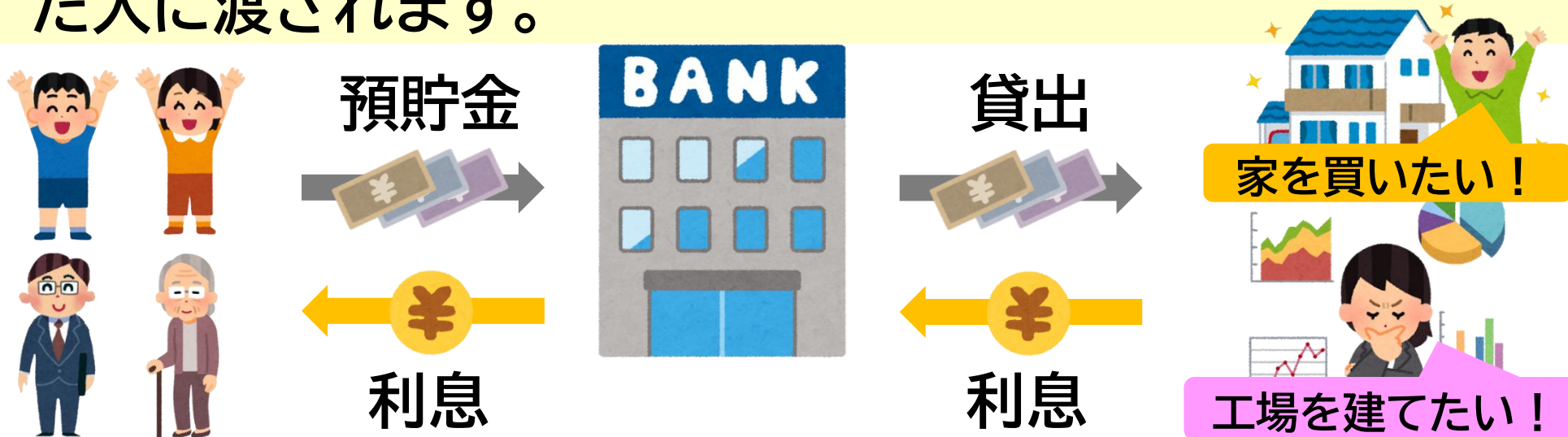
- 『株式』とは、お金を出して応援してくれた投資家に対して、会社が証明として発行するものです。
- 株式投資は、一般的にリスク・リターンともに大きくなります(ハイリスク・ハイリターン)。



- 債券とは、国・自治体や企業が、投資家からお金を借りるために発行する『借用証書のようなもの』です。
- 債券投資は、リスクは小さくリターンも小さめですが、基本的に安全性は高めです(ローリスク・ローリターン)。

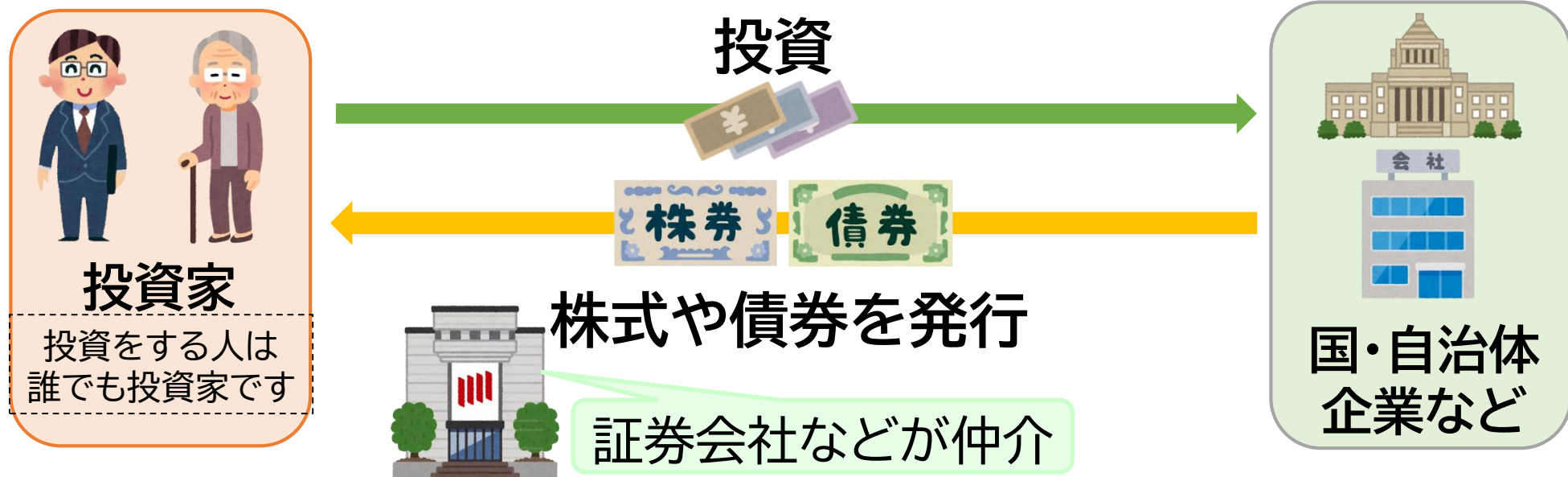


- 皆さんが銀行などに『**預貯金**』をすると、その預けたお金はお金が必要な人や会社に『**貸出**』されます。
- 銀行などからお金を借りた人や会社は、お金を借りたお礼として銀行などに『**利息**』を払い、その一部が預貯金をした人に渡されます。



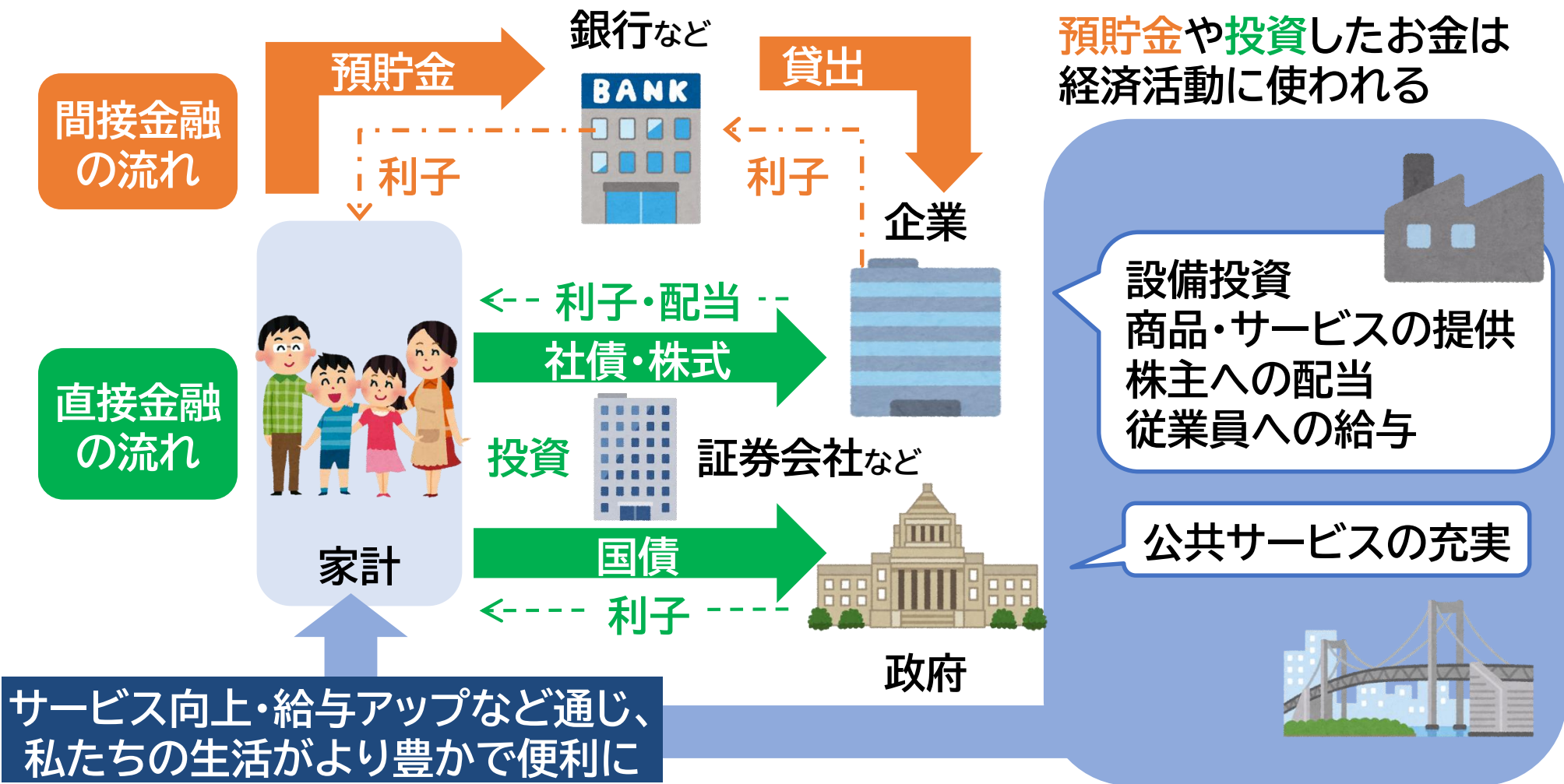
誰にお金を貸すかは預貯金をした皆さんではなく、銀行などが決めます。皆さんが、お金が必要な人や会社に間接的にお金を貸すことになるので、このような仕組みを『**間接金融**』といいます。

- 預貯金と違い、お金を必要とする相手に直接お金を提供する方法があります。
- この時、お金を提供する人を『投資家』といい、代表的な投資の商品として、『株式』や『債券』があります。



預貯金と違い、投資家は自分でどこの会社に投資をするか選び、直接お金を提供するので、このような仕組みを『直接金融』といいます。

○資産形成(預貯金・投資)は、『**経済活動を支える**』ことで、消費(商品の購入)と相まって『**経済を循環**』させています。



○消費や投資・寄付等を通じて、『社会課題の解決やSDGsに貢献する』ことができます。

SDGsとは

「持続可能な世界を実現する」ことを目指して、国連サミットで採択された国際目標。貧困や飢餓、保健、教育、ジェンダー、環境、生産、雇用など、幅広く17のゴール・169のターゲットから構成される。



私たち

商品の購入

投資・寄付



環境
保全

貧困
対策

クリーン
エネル
ギー

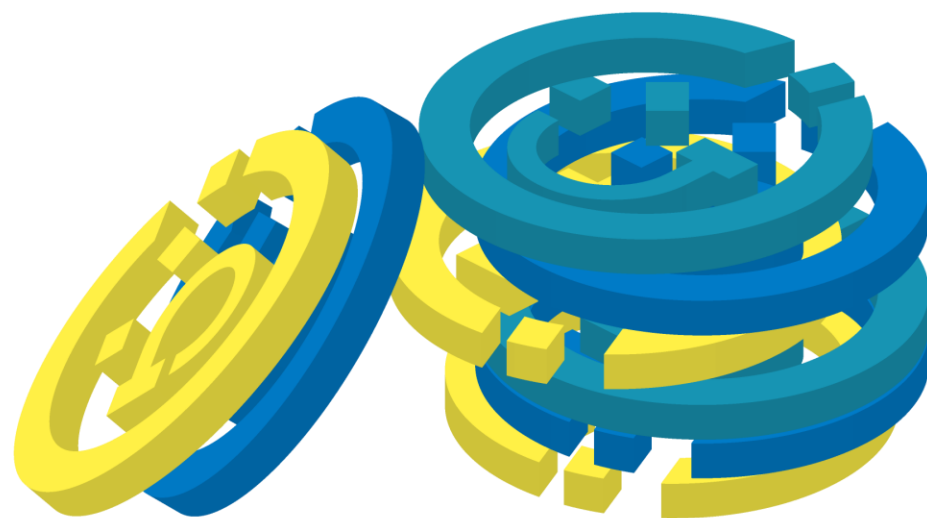


SDGsに取り組む企業

⇒ 消費(商品の購入)や投資(債券・株式などの購入)、寄付(クラウドファンディング等による被災地などへの寄付)等による資金提供を通じて、社会をより良くすることに貢献できます。

5【備える】

保険の仕組み



- 人生には『様々なリスク(危険)』が存在します。
- リスクに対して、『どのように備えればよい』でしょうか。

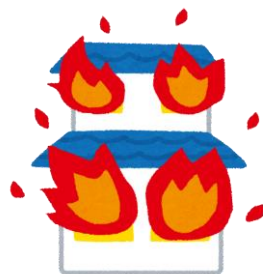
例えば、



ケガをした



病気になった



家が火事
にあった



地震で家
が壊れた



交通事故
を起こした



人の物を
壊してしまった

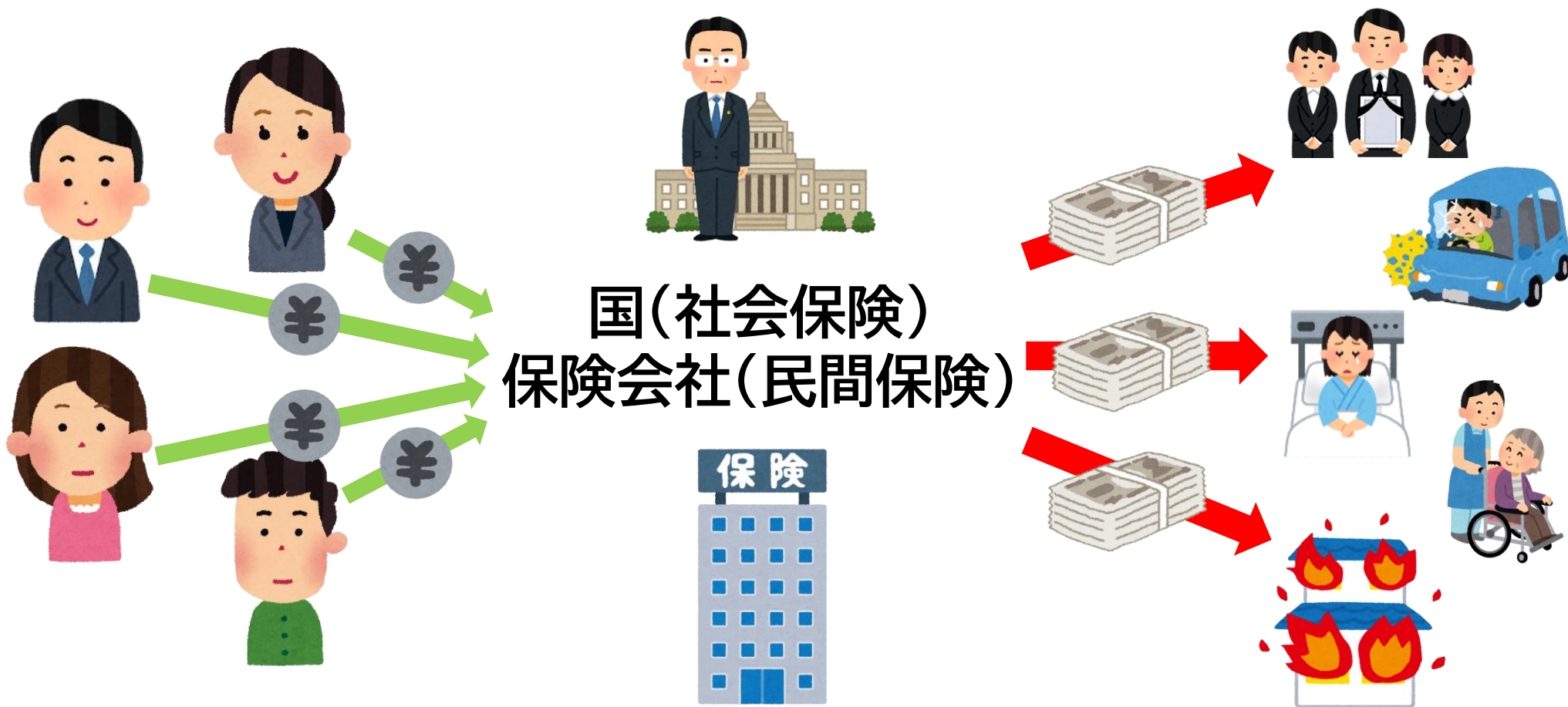


介護が必要
になった



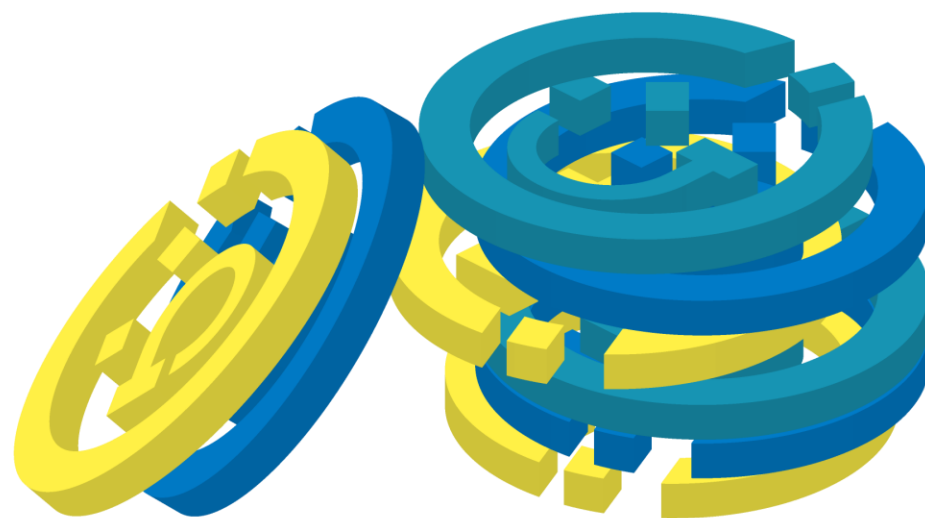
親など家計を支えて
いた人が亡くなった

- 様々なリスクに備え、みんなで少しずつお金(=保険料)を出し合って、万一の際にまとまったお金(=保険金)が支払われるという仕組みが『**保険**』です。



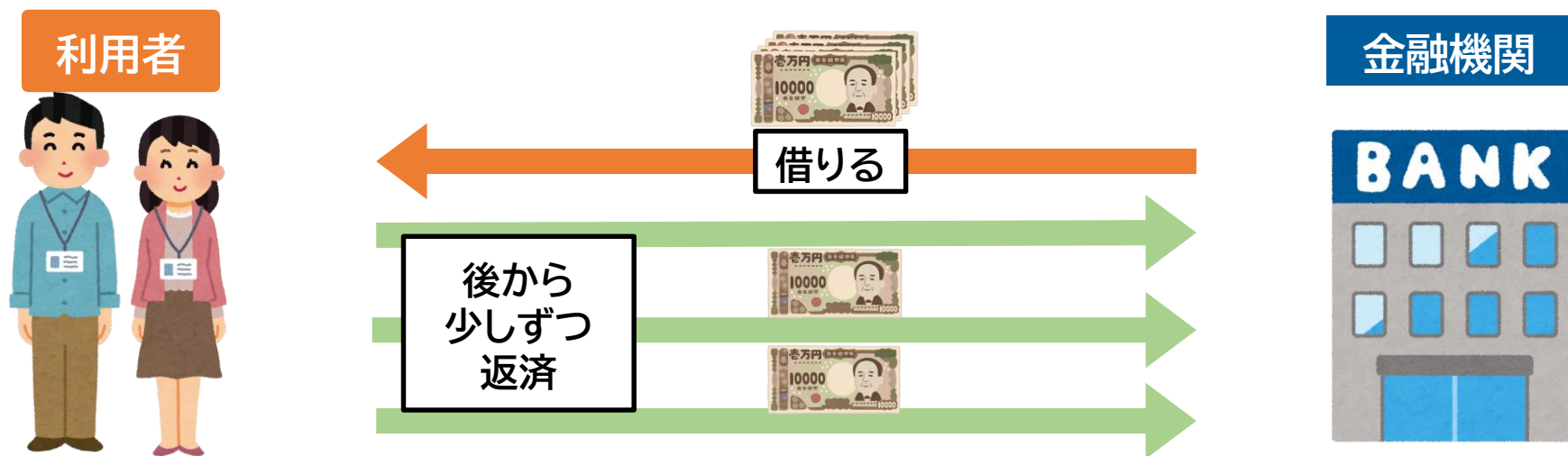
⑥【借りる】

ローン・クレジット



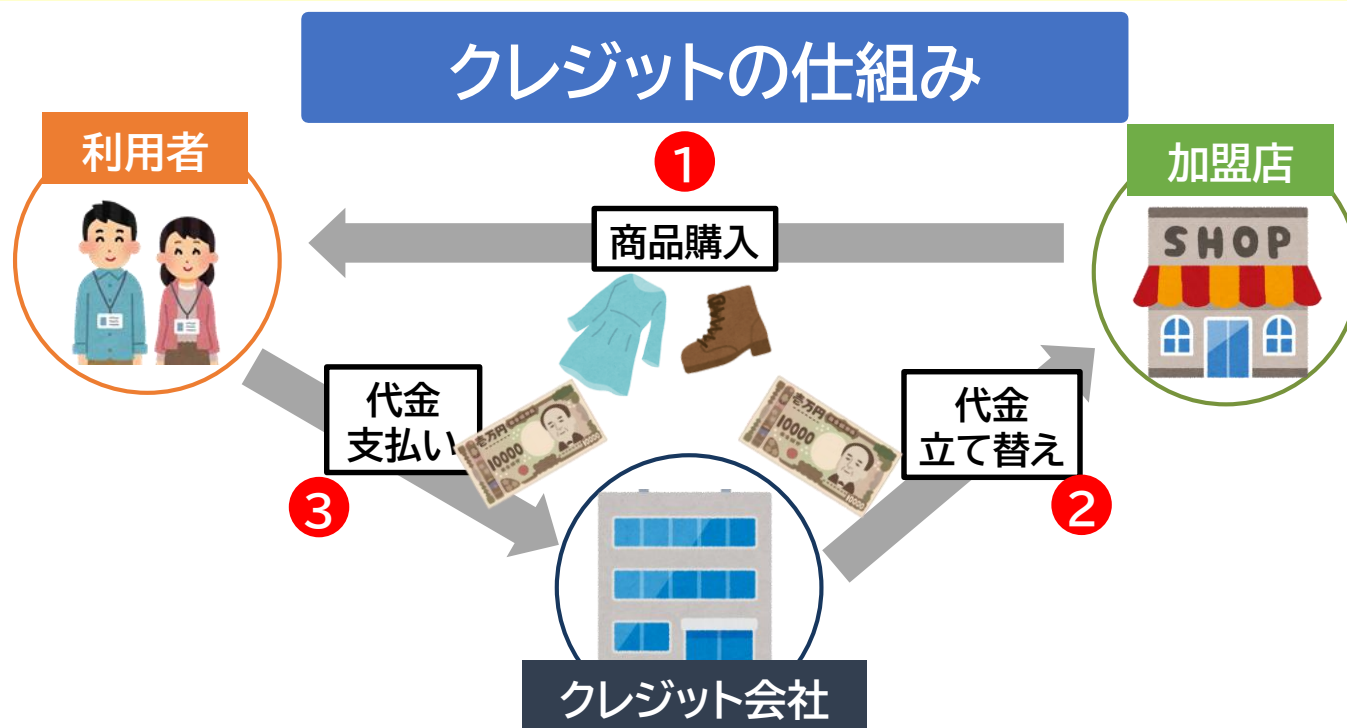
○ ローンとは、住宅や自動車など、『お金を一度に用意するのが難しい買い物をする場合に、金融機関からお金を借りて、後から少しずつ支払う約束』のことです。

ローンの仕組み



住宅・自動車などの高額な買い物で後から少しずつ返済。

- クレジットとは、『商品などを買った時点では代金を支払わず、後から支払う約束』のことです。
- 大半は『クレジットカード』での利用になります。



ローンとクレジットは、仕組みは違いますが、どちらも『後で返済(支払い)が必要な借入れ(借金)』です。

- お金の貸し借りには『**利子・金利**』がかかります。
- シミュレーション等で月々の返済額などを確認したうえで、『**計画的に利用**』しましょう。

利子(利息)

借りたり貸したりしたお金の、一定の割合で支払われる対価(お金)です。

金利(利率)

お金を貸したり借りたりする時の「値段」です。
元本に占める利子の割合(%)で表示されます。

利息の計算式

利息は下の式で計算できます。

$$\text{元金} \times \text{金利} \times \text{借入れ期間} = \text{利息の総額}$$

10万円を年利15%で1年借りると？

$$10\text{万円} \times 15\% \times 1\text{年} = 1\text{万}5,000\text{円}$$

※実際にお金を借りたときの返済金額とは異なります。

- クレジットカードには「ショッピング機能」と「キャッシング機能」があります。
- 支払い方を選べ、『リボ払い(リボルビング払い)・分割払いには手数料がかかるため、総支払金額が大きくなります』。

使える機能

- ーショッピング機能
購入代金の立て替え・後払い
- ーキャッシング機能
現金の借り入れ

支払い方

1回払い



ボーナス一括払い



リボ払い



分割払い




手数料のめやす

1~2回	分割払い
なし	11~15%
リボ払い	キャッシング
12~18%	15~18%

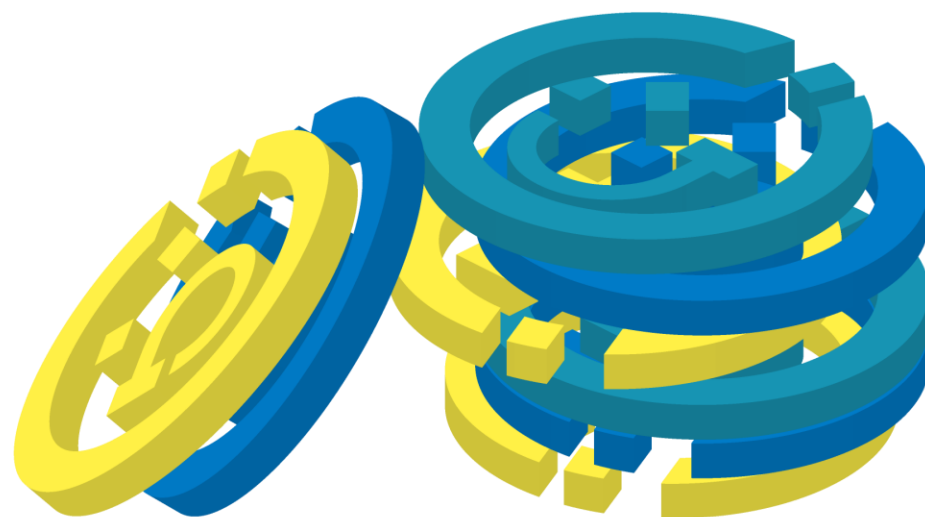
クレジットカードを利用するには、カード会社による審査があります。カードの利用は原則本人のみです。

○ クレジットカードは非常に便利ですが、利用するときは次のことに気を付けましょう。

- 目の前のお金が減らないので、**使い過ぎる心配**がある。
- カードの紛失・盗難などで悪用される危険がある。
- 支払い遅延などで、「**信用度**」がさがると、**ローンなどが組めなくなる**。
- 分割払い(一般的に3回払い以上)・リボ払いは、借入金利にあたる**手数料**がかかる。

7 【注意】

金融トラブル



○『闇バイトの特徴』を知っておき、被害を未然に防ぎましょう。

1. 「銀行口座を代理で開くだけ」や、「現金を引き出すだけ」等、
一見簡単な仕事に見える。
－いずれも詐欺等に利用されます。簡単に大金を稼ぐ方法はありません。
2. 免許証や学生証、家族構成を登録させる。
－いざ危険な犯罪であることに気づいても、「住所を知っている」「家族に何かあっても知らないぞ」等と脅されることが多くなります。
3. 犯罪組織に利用され、捨て駒にされる。
－何度も犯罪をさせられ、最終的には実行犯として闇バイトに応募した人だけ逮捕され、犯罪組織は逃げてしまうケースも多いです。

「闇バイトに応募してしまったかもしれない」「免許証等を登録してしまい脅されている」というときは、**すぐに警察に相談しましょう。**

○ 金融トラブルに遭わないためのポイントを押さえましょう。

①『おいしい話には気をつける』。

「ローリスク・ハイリターン」はあり得ません。＝「おいしい話」は存在しません。

②向こうから近寄ってきてても、『怪しいと思ったらはっきり断る』。


「今だけ」「あなただけ」には要注意。遠慮せずに「いいません」と断りましょう。



万が一『トラブルに遭ってしまっても、決して諦めない』。

ひとりで悩まず、早めに適切な相手に相談することで解決策が見えてきます。

- 金融トラブルに限らず、消費者トラブルで困った際は、『**独りで悩まずに相談**』しましょう。

<p>契約や商品について困ったときは ⇒ 消費者ホットライン (全国共通)</p>	<p>188(いやや)</p>  <p>消費者庁 消費者ホットライン188 イメージキャラクター いやヤン</p>
<p>警察に相談したいときは ⇒ 警察相談専用電話 (全国共通)</p>	<p>#9110</p>
<p>金融サービスについて困ったときは ⇒ 金融庁 金融サービス利用者相談室</p>	<p>0570-016811</p>